





學藝

經濟中間安定は可能か

早川三代治

現在我國がその中に喘いで危険性が甚だ多いと私は思ふ。次に擧げる経済混乱から経済の再建率直に言つて私は経済中間安定を意圖する當局の計画が「経済中間安定」策として傳へざるを得ない。仮りにそれが字を一例として、それは何を意味するであらうか(單位百萬元)...

右の内、政府貸上金の内容は赤字補填、特別會計貸出であつて、後者の主なるものは、(一)政府貸上金、(二)貸出金の勘定項目であるが、(三)種々の勘定項目であるが、(三)千九百萬元の中、利付國債五五、九百萬元、食糧證券二五、二五七百万円、復金債四五、六六〇百万円を占め、この復金債が固定的性質を多分に有しているものである。かゝる銀行券は政府の財政策の命脈を握るものであり、インフレに對しては、インフレを抑制し、後者のそれを切斷することは、不可能である。生産を最前の水準にまで回復し得たとして、それらも併し、それもこのインフレーションの下では望み得ない。紙幣の価値はそれに対応する水準まで回復することは期待出来ない。インフレは政府の矢張り早の價格体系も上げによつて生産の回復力よりも遙かに強く作用するであらう。私は政府が今日の如き財政策を採る限り、中間安定は実現不可能であり、むしろ反対に崩壊するより外はないと思ふ。決定された安定の期間は崩壊の期間と一致する危険が甚だ多い。政府は直接的に且つ積極的に紙幣の価値の回復に乗り出すべきである。今日の段階に及んではインフレインフレ對策の第一の而して根本的の方策は大規模の通貨整理と財政緊縮以外にはない。これを断行せずしてはインフレインフレの病根は絶ち得ない。一聯の総合的インフレインフレ對策の一重要素として私は日銀の政府よりの完全なる獨立を要望したいと思ふ。日本銀行が眞に銀行の銀行として中央銀行の地位を占めるべきである。

金利政策によつて金融上の指導力を確立すると同時に、政府の政策者流の政策から完全に獨立して、國民のために通貨価値の確保を究らし得る地位に立たしめることが緊要である。終りに重ねて言はう。經濟中間安定は我々が如何に多くのものを是れに期待して、今日のような財政策を継続する限り、その実現は不可能である。政府の望む如く、仮りに一應の中間安定があり得るとしても、それは次の轉落を内蔵する甚しく不安定なものたるに過ぎないであらう。

先生の想出

先生は球のよりなもので、押えれば片側はふくれるの姿の「など断片的な言葉に現われた先生の考へは眞実の意味のりペラリストであつたこと

ルアンのカテドラル モネー作

モネーは一八九九年にルアンのカテドラルを取材し

印象派繪畫解説 松登の寫実主義ではあるが近代繪画の出現をなした、當時の科學の隆昌と共に大陽光線の分類によるプリズムを通した色彩発見による、近代繪画の領域に近代的意義をもたらした近代繪画の鼻祖をなす印象派を識る事こそ近代繪画理解の鍵となるであらう。以下印象派の代表的画家とその作品の解説を試み、既に諸種の雑誌その他に紹介されても居るので私は福島繁太郎氏著「印象派時代」を照し、紹介の勞をとりたいたいと思ふ。



空を画面の極一部分にとり、他の部分はゴシック風な彫刻に飾られた石造の會堂に反映する光で埋め盡くされ、モネーの天分を最高度

魯迅散文詩

おれは布施を得られぬならうし、その心持も得られぬ

私は希望の盾を借いた、私はに笑の淵